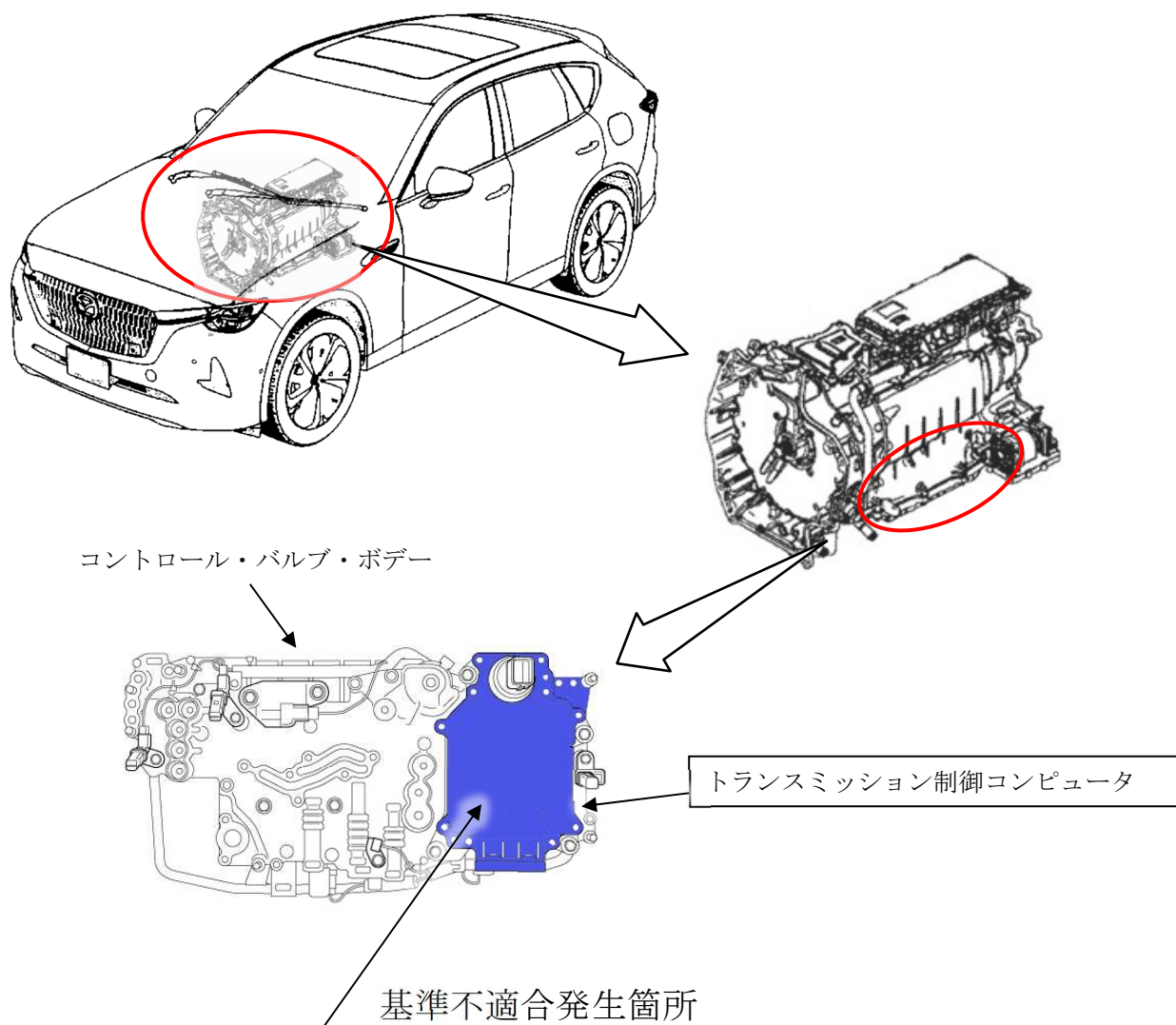


改善箇所説明図①



トランスミッション制御コンピュータにおいて、制御プログラムが不適切なため、変速時やE V走行からのエンジン再始動時に、強めにブレーキを踏むと締結しているクラッチが解放しないことがある。そのため、エンジン回転が低下し、最悪の場合エンストするおそれがある。

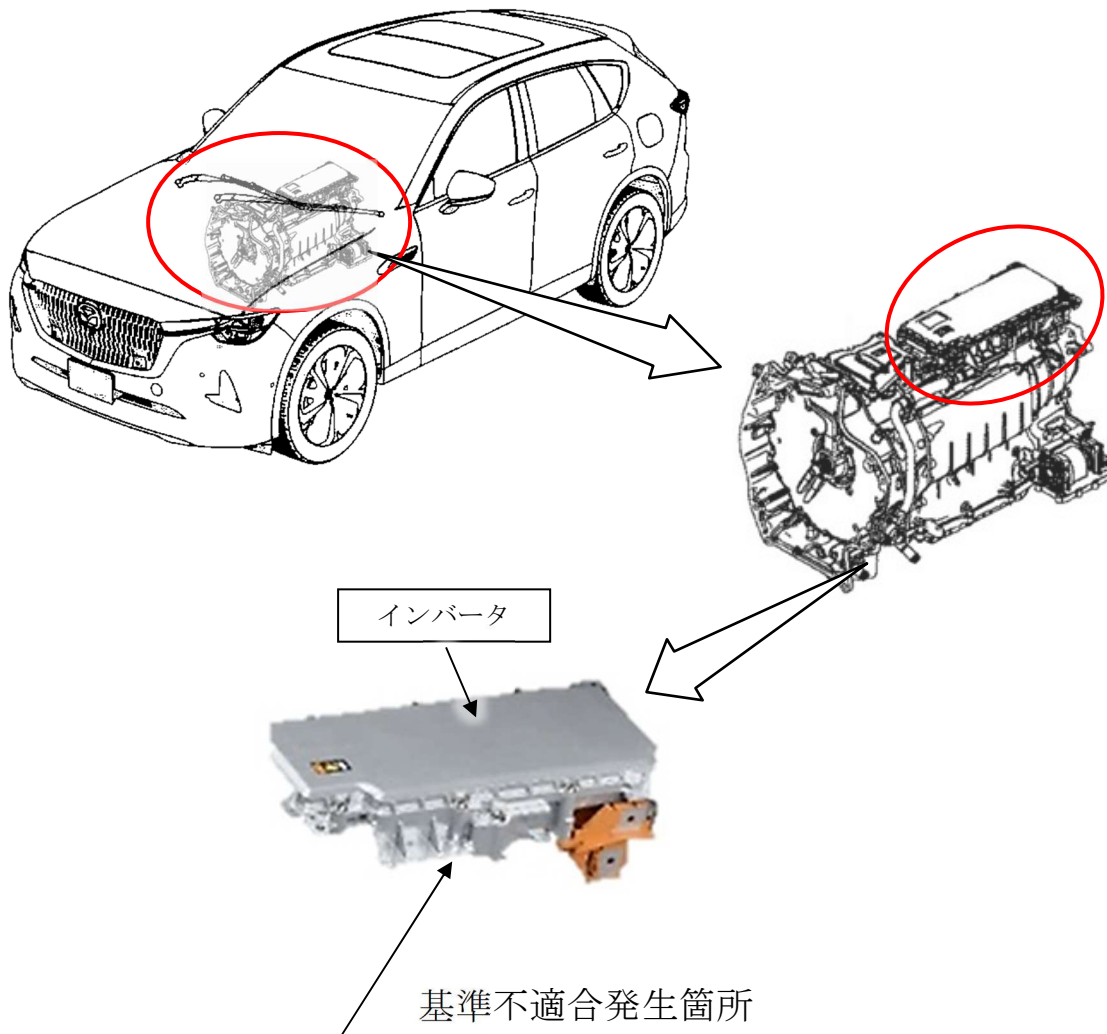
改善の内容

全車両、トランスミッション制御コンピュータの制御プログラムを対策プログラムに修正する。

識別：左リヤドア・ロアヒンジ取付けボルト(上側)の頭に黄ペンを塗布する。

注) は、プログラムを修正する部品を示す。

改善箇所説明図②



電力変換装置（インバータ）において、制御プログラムが不適切なため、プッシュボタンスタートをオフした直後にオンするとインバータが起動しないことがある。そのため、アイドリングストップ後にエンジンが再始動できない。また、バッテリーへの充電が停止するため、充電警告灯が点灯し、最悪の場合エンストするおそれがある。

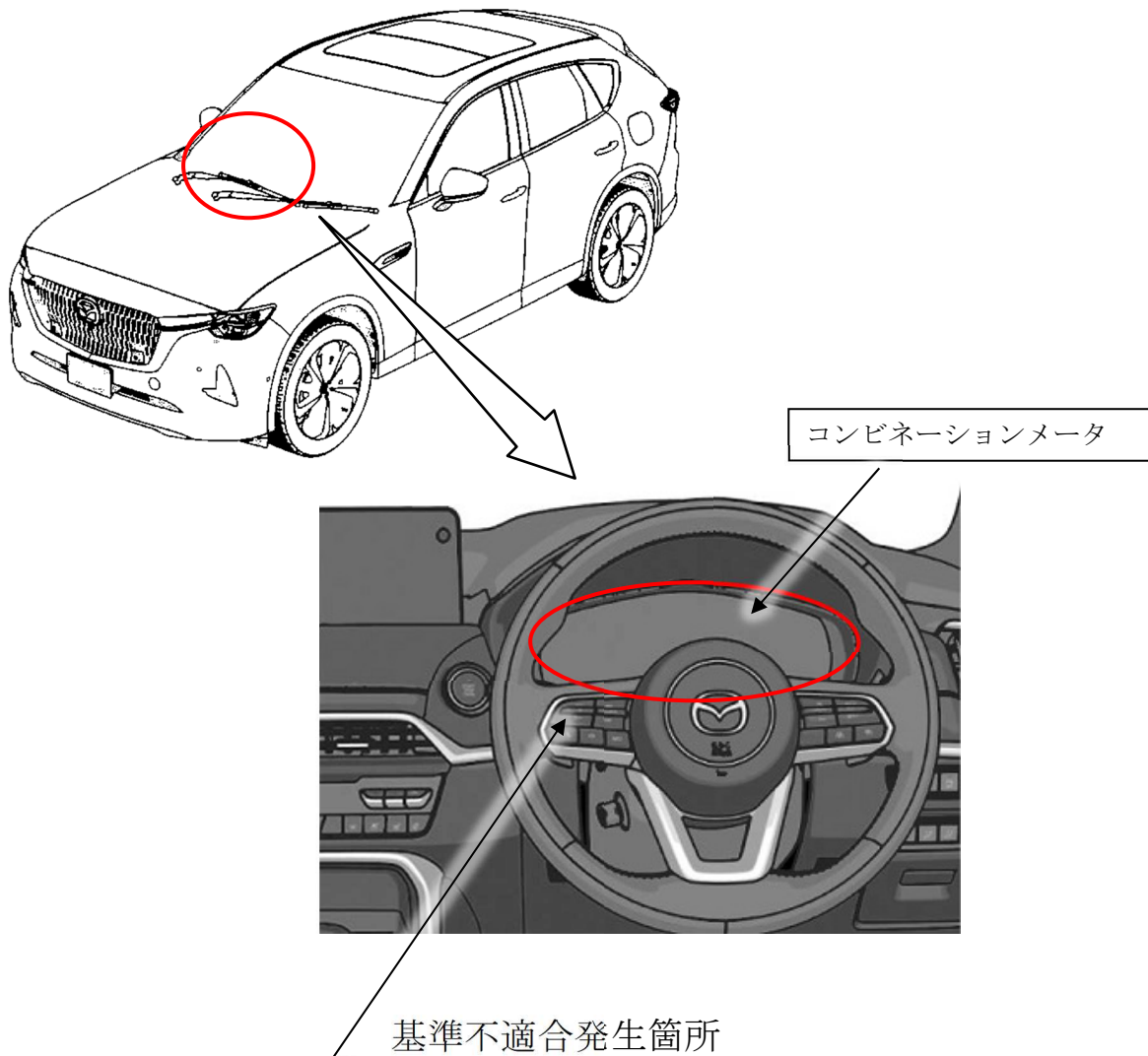
改善の内容

全車両、インバータの制御プログラムを対策プログラムに修正する。

識別：左リヤドア・ロアヒンジ取付けボルト（上側）の頭に黄ペンを塗布する。

注） は、プログラムを修正する部品を示す。

改善箇所説明図③



コンビネーションメータ（フル液晶タイプ）において、制御プログラムが不適切なため、メータの液晶画面を表示するための起動制御が完了できないことがある。そのため、速度計や警告灯等が表示できないおそれがある。

改善の内容

全車両、コンビネーションメータの制御プログラムを対策プログラムに修正する。

識別：左リヤドア・ロアヒンジ取付けボルト（上側）の頭に黄ペンを塗布する。

注) は、プログラムを修正する部品を示す。